



日本口腔顔面痛学会理事会では、News Letter を発行することにいたしました。

News Letter 発行の目的は口腔顔面痛学会の活動に関する Update な情報を会員の皆様に伝えることにより、学会の現状を理解していただき、また最新情報を臨床に活かしてもらう、口腔顔面痛患者さんの診断、治療能力を高めてもらうことにあります。News Letter はメールで会員宛に送ります。

今回は、9月26日に行われました平成27年度日本口腔顔面痛学会専門医試験について日本大学松戸歯学部の大久保昌和先生に、報告していただきます。

平成27年度 日本口腔顔面痛学会 専門医試験について

平成27年9月26日に第2回口腔顔面痛専門医試験が慶應義塾大学信濃町キャンパスにおいて行われました。今回は受験資格を満たした4名の志願者が受験されました。専門医試験は多肢選択問題と筆答試験からなり、口腔顔面痛の診断と治療ガイドブックを標準として、痛みの生理学的メカニズムから患者管理まで幅広く出題されました。

日本口腔顔面痛学会は、歯科領域の疼痛治療を専門とする学会で、日本歯科医学会の認定分科会であり、学会の重要な事業のひとつに認定医・専門医の認定およびその指導者の認定、研修施設の指定があります。本学会の専門医・指導医・認定医規則は“口腔顔面痛に関する広い学識と高度な専門的技能を有する歯科医師・医師の養成を図り、もって口腔顔面痛医療の発展と向上ならびに国民の福祉に貢献すること”を目的としています。

本学会の専門医等の制度は、2年間学んだ認定医、5年間学んで試験に合格した専門医、専門医取得後5年間学んで試験に合格した指導医、認定医・専門医を養成する研修施設、2011年以前に勉強された暫定認定医等の5つの柱からなっています。現在のところ、指導医73名、専門医24名、認定医29名、認定研修施設は33施設が認定されています。

専門医等認定委員会の喫緊の課題として口腔顔面痛学を標準的な歯科医学教育に据えることや慢性疼痛で苦悩している患者のアクセスため、日本全国すべての歯科大学・歯学部あるいは地域に指導者と研修施設の認定を目指すことがあげられます。

会員の皆様にはリニューアルしたホームページを訪問していただき、認定医、専門医制度について御一読いただけますようお願い申し上げます。

専門医等認定委員会委員

日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座

大久保昌和